



中村千代子 議員

問① 不妊になやむ夫婦に対して、目を向けなければならぬと思うが、不妊治療に助成は出来ないか。

答 県の取り組みや、他市町村の動向を見守りながら、方向性を検討していく。

問② DV防止法が平成十三年十月施行されたが、DV被害者の相談窓口を、市民サービスコーナーの家庭・母子相談員の所で対応できないか。

答 家庭紛争相談の業務も担っているので、対応する。

問③ 明年開催される「若狭路博2003」を機会に、市の木(モミジ)市の花(ツツジ)を活かす考えは。又、市の木・花の制定経緯は。

答 小浜市のシンボルとして、市の木・花の普及活動が必要。市の景観、環境保全の立場から花一杯運動も含め、モミジ、ツツジの植栽を積極的に推進していく。
昭和四十九年六月に市民投票で制定。



石橋和彦 議員

問① 若狭路博を成功させるためにはワールドカップのようなカラフルな演出が必要である。旗、Tシャツなどで準備期間中市民の意識を盛り上げよう。

答 若狭路博2003は必ず成功させなければならぬ。実行委員会に提案していく。

問② 御食国若狭小浜のグレイドアップのため民間の調理師専門学校を設立支援してはどうか。

答 民間の意欲ある方があれば支援したい。

問③ 時代的町並み再現に意欲ある人に改造資金を補助してはどうか。また、三丁町を含めた町並みを一体化し、観光客が散歩できる時代的回廊を作ってはどうか。

答 九月議会には、指定の地区で道路面を改築、新築される方で希望者に補助できる制度を提案する。時代的回廊も地元協力が得られるか調査したい。



富永芳夫 議員

問① 現在検討中の行政に対する苦情を解決する公的オンブズマン制度は、小浜市規模の自治体では、人事的・財政的等に課題がある。そこで小浜市の現状に適した制度をも考慮しては。

答 公的オンブズマン制度の導入の適否は本年度中に結論を出す。その際には行政から独立した形だけでなく、行政内部に設置する形なども考慮し、本市の現状に適した制度を模索したい。

問② 大手橋・西津橋の早期架け替えの今後の方策と見通しは。

答 架け替え計画の概要等を事前に関係者と協議し、地元コンセンサスを得る必要がある。事前の測量・調査について、本年度又は来年度早々の業務発注を県の担当部局に要望している。平成十九年度の着工予定で、地元での了解が得られれば、八年ほどで完成の見込み。

駅通り商店街バリアフリー化へ

現在、市内各所において、公共下水道、道路改良をはじめとする様々な公共事業が進められております。

その中でも、小浜市街地の背骨となる駅通り商店街アーケードが、来年開催される若狭路博2003に向け、リニューアルされていきます。

整備の内容は、歩道のバリアフリー化とアーケード全体イメージアップを目指し整備されているところです。

市議会としても、いろいろな分野でのバリアフリー化に向け提言してまいります。



市町村合併を考える

いま、地方分権が推進され、地方自治体のあり方が問われる中で、市町村合併の特例に関する法律の期限内成立(平成十七年三月三十一日)を目指し、日本各地で市町村合併の議論がされており、既にいくつもの新自治体が誕生しております。

本市議会におきましても、本年一月三十日に議会内部に設置された市町村合併研究会から議長に対し、「諸情勢から市町村合併は避けられない課題であり、積極的な取り組みを進め、でき得る限り早い時期の合併協議会設立を目指す」などの答申がされ、それを受け嶺南市町村議会議長会等の会合を通じ、市町村合併についての議論の場を持つことについて取り組んでおります。

また、各議員につきましても、市町村合併に関するセミナーや講演会などに積極的に参加し、市町村合併への知識を高め、議会活動に活かしております。